

ホット ほっと

特集 流行注意！ 感染対策の徹底を！

ご自由にお持ちください

令和6年度・感染対策研修実施報告

横浜市総合保健医療財団の感染対策

横浜市総合保健医療財団では、感染対策会議と感染対策委員会の2つの会議体を組織し、様々な感染症に対する対策を推進しています。

感染対策会議は、主に発生した感染症に対する組織としての対応を検討する場として機能しています。一方、感染対策委員会は、予防的な観点から市域の感染状況を共有するとともに、職員向け研修の企画・立案、予防接種の検討・運営等をする場として機能しています。

高齢者施設や診療所、障害者施設として、「持ち込まない、持ち出さない、拡げない」を合言葉に、気を引き締めて対策を講じます。

特集 流行注意！ 感染対策の徹底を！



令和6年度・感染対策研修実施報告

今年度も、院内感染防止を目的とした研修会を、財団職員及び委託会社職員を対象に、12月10日に開催しました。昨年度と同様に、公益財団法人神奈川県看護協会・危機管理課の感染管理認定看護師の吉村靖史氏を講師としてお招きし、1時間を越える座学・演習を実施しました。



今年の冬は、マイコプラズマ肺炎、新型コロナウイルス、そしてインフルエンザの3つが同時に流行する「トリプルデミック」が懸念されています。院内感染防止に努めると同時に、今回の研修で学んだことを職員自身の体調管理にも活かしていきます。

【看護部の取り組み】～感染を持ち込まない、拡げないために～

日常的な新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、職員自身や家族等の体調に変化があった際に使用する「新型コロナウイルス初動対応マニュアル（職員編）」を作成しました。チェックシートに沿って確認することで、誰もが自分や家族の体調の変化を認識し、行動できるようになりました。

この取組を「横浜市老健研究大会」で発表し、システム化できており活用しやすいものであるとの評価を頂きました。今後も、職員一丸となって感染防止対策を継続していきます。（認知症専門棟職員・介護福祉士 小尾）



本誌に掲載されている内容の無断転載・転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

お問い合わせはこちらから

横浜市総合保健医療財団
横浜市総合保健医療センター 総合相談室
月曜日～金曜日 8:45～17:15
(祝日・年末年始を除く)
TEL: 045(475)0103

横浜市総合保健医療センター
ホームページ

<https://yccc.jp>

ホームページの
「お問い合わせ」画面から
お問い合わせいただけます

